

あなたの活動がキャリア・コンサルタントの励みになる

平成22年度

【実践レポートの審査による表彰】

第2回 キャリコン大賞

応募者募集のお知らせ



- ・エントリー：8月2日から11月15日まで
- ・原稿提出：12月15日まで

主催：特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

★前回（第1回）キャリコン大賞受賞者の実践レポート、および応募者の一部の方のお名前と活動テーマを公開しています。ご参照下さい。下記URLにて閲覧・ダウンロードできます。（10月末まで公示中）

<http://www.career-cc.org/blog/?p=735>

★応募レポートのボリュームを今回から10ページに変更し、応募しやすくしました。（前回は20ページ）



第1回表彰式（キャリア・コンサルタント全国大会にて）

【この表彰の目的】

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会は、キャリア・コンサルタント養成機関や能力評価試験団体が集まって設立し、キャリア・コンサルティングの普及推進と資質向上を目的として設立された団体です。キャリア・コンサルティング協議会は、キャリア・コンサルティングが社会インフラとして各方面において活発に実施され、その結果、個人がイキイキとした職業人生を歩めることを目指して様々な活動をしています。

キャリア・コンサルタントは、就業・進路に係る個別相談は言うに及ばず、職業訓練支援、職業能力開発支援、自立支援、企業実習（インターンシップ）などの啓発的経験の促進、そしてグループの力を活用した行動変容プログラムの推進など、場と相手と目的に応じて様々な活動を展開しています。

官民需給機関や大学キャリア・センターではキャリア・コンサルタントの存在やその仕事についての認知が高まりつつありますが、多くのキャリア・コンサルタント資格保有者たちは、組織内での認知にもどかしさを感じている状況があります。また、そこには“高い志と自助努力の積み重ねが自己の成長になるもの”と信じて邁進しようとするキャリア・コンサルタントの姿も浮き彫りになってきます。

そこで、キャリア・コンサルティングの実践・普及促進に努力し、一定の成果を出した実践者としてのキャリア・コンサルティング内容を表彰し広報することでキャリア・コンサルタントの模範にするとともに、産業界、教育界を始めとする社会への認知度向上、普及拡大に資するために、「キャリアコン大賞」という表彰の仕組みを平成21年度に設置し、すでに第1回表彰をH22年3月のキャリア・コンサルタント全国大会にて行いました。多くのキャリア・コンサルタントのご応募をお待ちしております。

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会 会長 花田 裕

1. 審査の対象となる活動のイメージ例

企業領域の活動例

- ・企業内にあって、キャリア開発研修や個別相談のみならず、人事制度・人材開発制度（能力開発制度）・目標管理制度などに「キャリア開発支援」の軸をもたらし、人的資源管理と個人のキャリア成長が相互に好影響する成果を出したキャリア・コンサルタントの活動例。
- ・キャリア相談室を設置するにあたって、トップ、人事、労組などへの提言や交渉、そしてリファーマスターなどのネットワーク体制を持てるようになり、一定の成果を認めてもらった活動例。（リテンション、早期退職、キャリア選択、能力開発などへの支援）

教育機関の活動例

- ・入学した学生（生徒）のキャリア意識を醸成するために、組織を動かしキャリア教育や個別相談を展開し、教育機関におけるキャリア支援の成果を示すことができたキャリア・コンサルタントの活動例。
- ・従来のスクール・カウンセリングにキャリア・ガイダンス&カウンセリングを取り入れ、学生の学校生活の充実に貢献できた例。
- ・就職部からキャリア・センターとして機能させ、就職に繋げるための学年次をまたがる活動によって、学生の自己理解や職業理解を深め、企業と学生の間においてコーディネーション機能を発揮できた活動事例。

公的需給機関の活動例

- ・ハローワークや公的就業支援センターなどにおいて、就職困難な人や、これまで就業機会に恵まれなかった人たちに対して、ジョブ・カード制度やトライアル雇用制度を始めとする国の制度を活用する形で、多くの相談者に職業訓練の情報提供を行い、就職に係る成果を出した例。（制度利用、制度適用のみでは対象となりません。相談者に対してどのようにモチベートしたか、企業経営者や訓練機関にどう分かってもらったか、の活動例）
- ・地域NPO、商工会議所、教育委員会などと連携して、地域の就労問題や教育問題にキャリア・コンサルティングの切り口から挑戦し、成果を出した例。

地域NPO等での活動例

- ・就職ができないでいる学生やフリーターが、働く意味を見出し、自ら行動を起こして職業選択をし、職業訓練や資格取得の後、正規雇用される道を開拓したキャリア・コンサルタントの活動例。
- ・ニートに対して、生活改善、礼儀作法、基礎教育、職業体験などを通じて自立する仕組みに、キャリア・コンサルティングを活用して成果を出した例。
- ・子育て終了後の母親や帰国子女、ハンディキャップをお持ちの方、留学生などに対して、心理的サポートの

一方でキャリア形成支援、就業支援などに尽力し、成果を出した例。

個人活動例

- ・キャリア・コンサルタントとして、特定の組織や団体の業務を請け負い、依頼された目的を果たすとともに、自分なりの工夫と活動によって、相談者と依頼組織から大きな評価をもらうことができた活動事例。

その他

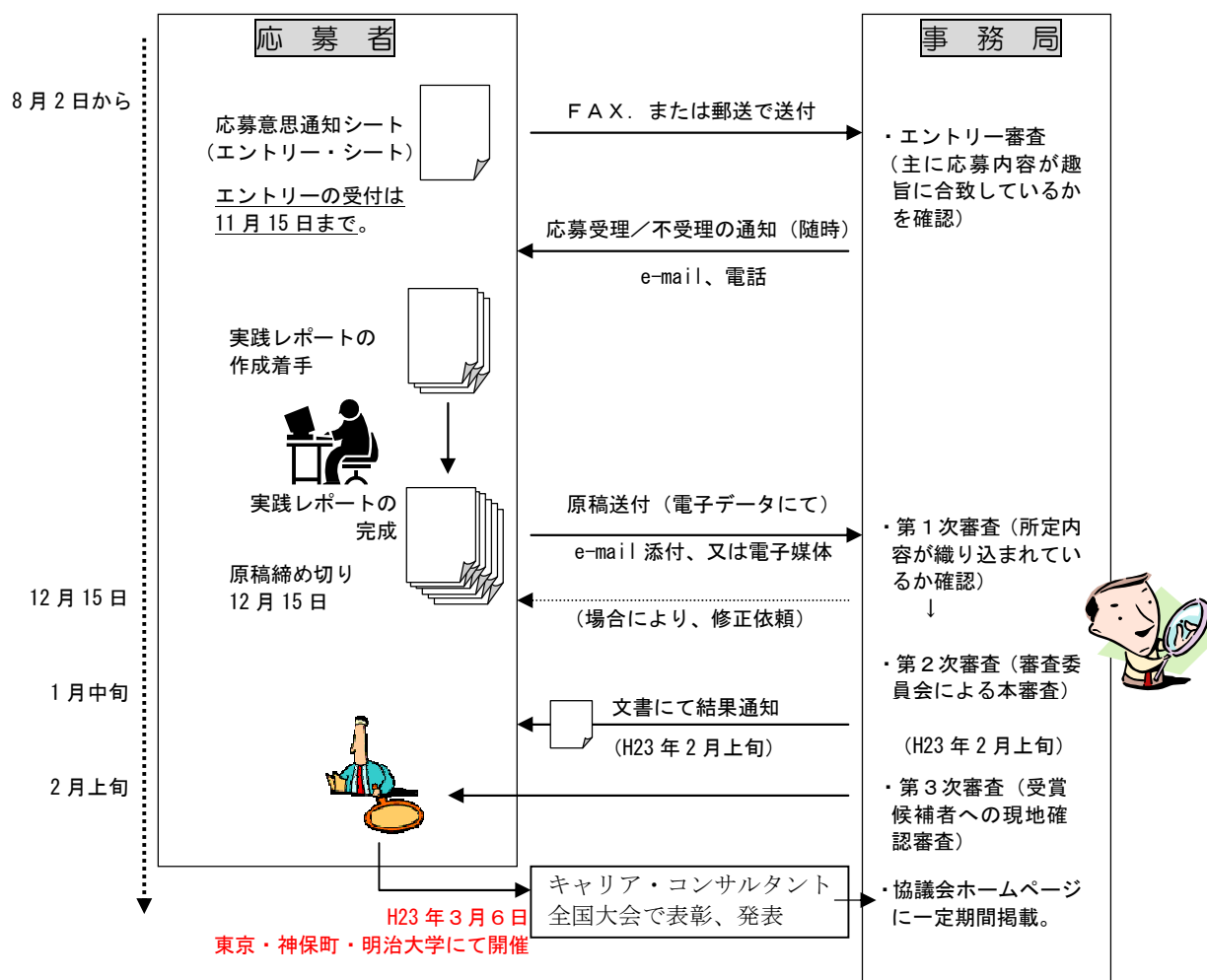
(メンタルヘルス支援のみの場合や、キャリア研修の実施のみの場合は対象としない)

(注)対象はキャリア・コンサルティングを行っている個人またはグループ。

キャリア・コンサルティングを専門としている法人での活動で事業宣伝として捉えられる内容では応募できません。
応募対象になるかどうか分からない場合は事務局に問い合わせください。

2. 審査方法とスケジュール

- ・大賞 1 人 (1 組) をキャリア・コンサルティング協議会会長名にて表彰する。
(優秀賞・領域賞など数組を追加する場合がある)
- ・規程の「実践レポート様式」により提出された報文を審査する。(自説や研究論文は不可)
- 【第一次審査】 事務局にて、所定の内容が織り込まれているかを確認審査。
- 【第二次審査】 審査委員会による審査。
- 【第三次審査】 現場審査 (または本人・関係者へのヒヤリング) による確認審査。(受賞候補にのみ)



3. 審査委員会

審査委員会は学識者・実務有識者、協議会会員機関から選出された委員で構成する。（審査員名は非公開）

4. 審査基準（主要な基準）

①活動内容、成果の社会的意義・影響度

報告された活動・内容・成果が、社会的に意義あるもので他の模範となり、キャリア・コンサルティングの導入促進に貢献できるか。

②活動の効果性・客観性・妥当性

活動の結果が、目的に対して効果をあげており、それを客観的に評価できうるか。

③努力度

活動する上で生じた課題や問題に対して、それを克服する努力をしているか。

④レポート作成の完成度

提示された報告書が論理的に整合し、見やすく・理解しやすく、納得感を得られるか。

⑤現場確認・ヒヤリングによる信頼性（受賞候補者のみに適用）

現場・現物・現実を視察・聴取し、レポート内容の信頼性を確認する。

5. 表彰方法

- ・受賞者はキャリア・コンサルタント全国大会（H23年3月6日<日>・東京・明治大学キャンパス）において表彰式に出席し、表彰状、トロフィー等を受け取るとともに、この全国大会のセッションで発表する。（主要幹線の旅費および前泊費が支給されます。講演謝金はありません。）
- ・なお、一定期間キャリア・コンサルティング協議会ホームページに、名前とレポートを公開する。（受賞されなかった場合であっても、名前と応募テーマの公表をしてもかまわないとした方については公表します。）

6. 応募対象者と応募条件

対象：キャリア・コンサルタントとして活動している標準レベル等以上の資格を持つ個人またはグループ。
（過去に近似内容で、表彰されていないこと。前回レポート提出していないこと。）

7. 応募に際して提出してもらうもの

●実践レポート（指定様式に準じて提出）

- ・提出する実践レポートは、可視化でき、客観的に評価できるデータ（数値・写真・書類等）が含まれている（または添付されている）ものであること。いずれも電子データで提出してもらう。
なお、応募原稿は返却しない。
- ・提出物はMS Wordをベースとし、必要に応じてExcel表や写真データなどを挿入し、電子データの状態で提出する。（e-mail添付での送付が不可能の場合はUSBやCD-ROMなどの媒体で提出してもらう）
- ・レポートはA4に印刷したときに**全11ページ以内**になるようにする。
（資料やデータを別に添付する場合は、様式を問わないが、見やすく編集されており、印刷した場合に**5枚以内**に収まること）

8. 実践レポートに記載してもらう内容

- ・ 第三者のキャリア・コンサルタントが読んで理解できるように作成すること。

【レポートに盛り込んでもらう内容】 (提出用の様式は別途あります)

◆メインタイトル
(サブタイトル)

◆報告者: 氏名、所属又は屋号

◆主たる実践場所

◆対象活動期間 ____年__月～__年__月

◆報告者プロフィール

表紙

I. 報告概要: (活動と報告内容のアウトラインおよび成果を簡潔に整理したもの)

II. 問題意識と現状: (当該活動を行った経緯と当時の現状)

III. 活動の目標としたこと: (「何を」「いつまでに」「どれほど、またはどのような状態にしたい」と考えたのか)

IV. 活動のステップ: (どのような段階を経たか。可能なら図示にて)

V. 活動の具体的な展開: (誰を巻き込み、どのようにしたか。図・写真などにより可視化。本文に入らない場合は別添とする。) なお、特に工夫した点があれば、それを特記する。

VI. 結果および副次効果: (データ、図表、写真などにより可視化) <別添可>

VII. 考察: (活動を通じて新たに分かったこと、感じたこと、苦勞したこと、工夫したことなど)

VIII. 今後の課題: (やりのこしたこと・向上させたいこと・さらに上げたいこと)

(注) レポート内容が、守秘義務・個人情報保護法・コンプライアンス(企業倫理)などの倫理に抵触しないように留意すること。必要に応じて、個人や組織に対して公示内容の確認と了解を取ること。

9. 審査結果通知

審査結果は平成 23 年 2 月上旬に応募者全員に文書で通知する。なお、入選されなかった場合、その理由についての通知はしないので予めご承知いただく。

10. 応募方法 (エントリー方法)

応募したい方は(実践レポートを提出予定の方は)下記要領にて。

● 8 月初旬～**11 月 15 日までに**、別添の応募シート(エントリー・シート<1 枚のみ>)を次のいずれかの方法で事務局に送付。

① e-mail にエントリーシートを添付して送付(添付できない場合は本文に記載)

または②ファックスにてエントリーシートを送付 あるいは③郵送でエントリーシートを送付

● 実践レポートの原稿締め切りは **12 月 15 日(水) 必着**。

応募意思表示(エントリー)されると、事務局から確認の返信をします。

場合により、エントリー内容を電話または e-mail で確認させてもらうことがあります。

★4～5 日経って事務局からの返事がない場合はご連絡下さい。

<応募告知シート送り先・問い合わせ先>

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 退職金機構ビル別館 3階
特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会
キャリアコン大賞事務局 大関 電話 03-5402-5588 Fax. 03-5402-5599
メールアドレス：**office@career-cc.org**
(ホームページ：**http://www.career-cc.org**)

応募する方は、この書面のほかに別添の「応募告知シート（エントリーシート）」、「作成要領兼原稿用紙」に目を通してください。

以上